

調印する道内青年会議所の代表者たち



50青年会議所 災害時に連携

会員1600人、物資や人材派遣

道内の50の青年会議所（JC）が、大規模災害に備えたネットワーク作りにより乗り出した。被災地への支援助物資の提供やボランティアの派遣などで協力するもので、活動を効率良く進めるために情報を一元化する「道JC災害支援ネットワーク」を締結した。

協定では、災害発生を受けて、道内の各JCが所属する日本JC北海道地区協議会（事務局・札幌）に支援助報本部を設置する。被災地では、JCが現地対策本部の機能を務め、地元の警察や社会福祉協議会などの関係機関と協議し、被災状況や必要な支援助物資を支援助報本部に連絡する。

連絡を受けた支援助報本部は、他の地域のJCから提供を受けられる支援助物資をとりまとめたり、災害時に活動するNPOと連携して現地への派遣をスムーズ

に行えるようにしたりする。

今後は道などの行政機関とも協力の協定を結ぶ方針だ。道地区協議会は、道内では様々な業界・団体から1600人余りの会員が参加

しており、様々な分野で支援助できる。いざという時に頼りにされる存在を目指したい」としている。

こうした協定は、青森県内のJCでも締結されているという。